

## 出穂早い！間もなく花水の時期です！ 用水を効率的に利用して、高温対策を万全にしましょう！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

7月23日発表の1か月予報（気象庁）によると、8月中旬まで気温が高い見込みです。県の試験研究機関の調査では、「はえぬき」「つや姫」「雪若丸」の予想出穂期は、いずれも平年より早まる予想です。「はえぬき」の一部の圃場では、すでに走り穂がみられています。

農業総合研究センターでの予想出穂期（7月22日調査）

| 品種   | 場所  | 予想出穂期 | 平年出穂期※ | 平年差  |
|------|-----|-------|--------|------|
| はえぬき | 山形市 | 7/30  | 8/1    | 2日早い |
|      | 鶴岡市 | 7/27  | 7/31   | 4日早い |
| つや姫  | 山形市 | 8/4   | 8/8    | 4日早い |
|      | 鶴岡市 | 8/4   | 8/8    | 4日早い |
| 雪若丸  | 山形市 | 7/30  | 8/1    | 2日早い |
|      | 鶴岡市 | 7/27  | 7/31   | 4日早い |

※過去7か年(R1-R7)の平均値

### ◎当面の技術対策

- 出穂が早まっています。圃場をよく観察し、出穂を確認したら直ちに入水しましょう。穂揃期までは湛水状態を保ちます。

出穂・開花期の干ばつは不稔籾や穂の出すくみの原因となり、減収や品質低下につながります。

こまめに圃場の見回りを行い、畦畔や水尻から漏水していないかよく確認し、水が行き渡ったら速やかに水口を止め、用水を効率的に利用しましょう。また、地域全体に用水が行き渡るように関係者でよく話し合い、限りある水資源の有効活用に努めましょう。

- 穂揃期以降、高温時は飽水管理が有効！



飽水管理の様子

飽水管理は、湛水せずに土壌を常に湿潤状態に保つ水管理であり、根の活力を維持しつつ、地温を低下させる効果が期待できます。

なお、フェーン現象の発生が懸念される場合は、速やかに湛水して、イネを高温と乾燥から守りましょう。

夏の熱中症等声かけ期間

お互い気を配り、声をかけあって熱中症事故防止！

